

第2回 本明川ダム建設事業 環境保全検討委員会 議事要旨

日時：平成31年3月7日（木） 14：00～16：00

場所：長崎河川国道事務所

事務局からの説明

- ・現時点の事業進捗について報告した。
- ・本事業に係る環境保全の取り組み状況について報告した。
- ・平成30年度の事後調査報告書の内容について報告した。
- ・平成31年度の事後調査計画書の内容について報告した。

主な議事

○環境保全の取り組み状況について

【騒音】

- ・工事から発生する騒音は、監視基準を満足するだけでなく、少しでも低減できるように努めること。

【水質】

- ・曝気循環設備や選択取水設備の設計や運用方法について、これまでの定期水質調査で蓄積したデータを用いて検討が必要である。

【動物】

- ・両生類はダム湖を産卵場として使う可能性が考えられるため、周辺の付替道路等による移動阻害を少しでも低減できるような対策を検討する必要がある。
- ・ダム湖の水辺は、樹木で覆われた場所や開けた場所など多様な環境を創出していただきたい。

【湿地・草地環境の整備】

- ・持続的な維持管理が課題であり、地元の方に関心を持って頂けるように、大人も含めた環境学習の機会を創出してはどうか。
- ・常時湛水湿地を整備する場合は、1月～3月頃の両生類の産卵ピークまでに整備することが出来れば、良い産卵場になると考えられる。
- ・外来種の持ち込みの禁止といった注意喚起が必要である。

【廃棄物】

- ・伐採した木の枝は、法面から滑り落ちない安全な範囲で存置し、枯れ木に生息する動物の生息場となるよう配慮していただきたい。

○情報発信について

- ・事業者からの情報発信だけでなく、地域の子どもの意見を聞くような、ボトムアップ型の取り組みが出来るとうい。